

紀北家畜保健衛生所

電話 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

電話 0739-47-0974

紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所

電話 0735-58-1481

口蹄疫等の防疫対策の強化について

○韓国の養豚場で口蹄疫が発生しました！

平成30年3月26日、韓国京畿道金浦市で13ヶ月ぶりに口蹄疫(A型)が発生しました(1例目)。その直後の4月1日にも1例目の農場と疫学的に関連のある農場で口蹄疫(A型)が確認されました。

今回は豚での発生であり、豚は牛と比べて多量のウイルスを排泄することから、同国での口蹄疫ウイルスの濃厚汚染が危惧されます。

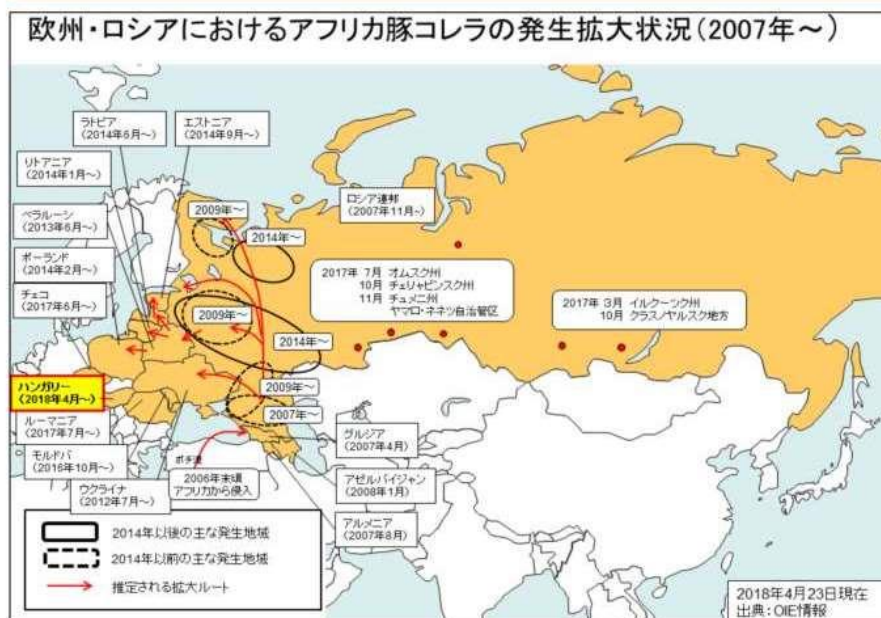
平成12年と平成22年には、韓国での口蹄疫発生直後に、我が国でも本病が侵入しています。韓国では、偶蹄類家畜の全国一時移動禁止や周辺農場の豚の予防的殺処分、緊急ワクチン接種などの防疫措置が実施されましたが、本病の我が国への侵入について、十分に警戒する必要があります。

○ハンガリーで初めてアフリカ豚コレラが発生しました！

平成30年4月24日、ハンガリーの野生いのししにおいて、アフリカ豚コレラが発生しました。アフリカ豚コレラは、もともとアフリカに限局して発生が認められていましたが、平成19年に黒海沿岸のジョージアで発生して以降、瞬く間にアルメニア、アゼルバイジャンやロシアなどに拡大し、現在ではポーランドやチェコ、ルーマニアなど東ヨーロッパにも拡大していたところでした。

本病のアジア地域への拡大、我が国への侵入リスクが更に高まっています。

アフリカ豚コレラの症状は豚コレラに類似し、発熱と全身の出血性病変が特徴的です。病原体はアフリカ豚コレラウイルス（DNA ウイルス）で、豚コレラウイルス（RNA ウイルス）とは全く異なります。



○飼養衛生管理基準の遵守を徹底しましょう！

訪日外国人旅行者は年々増加し、ゴールデンウィークを迎えるにあたり、海外と日本を往来する旅行者が増加します。

中国やモンゴル、ロシアでは口蹄疫が継続的に発生しており、隣国の韓国では、豚の口蹄疫が発生したところです。

加えて、口蹄疫同様に極めて重要な越境性動物疾病であるアフリカ豚コレラがハンガリーでも確認され、本病の感染が拡大しており、養豚密集地域であるアジア地域への侵入が懸念されます。

農場への関係者以外の立入の制限や、出入りする車両消毒の徹底など、改めて、飼養衛生管理基準の遵守状況を確認し、発生予防の徹底をお願いします。

○口蹄疫や(アフリカ)豚コレラの症状を確認しましょう！

別紙の症状を見つけたら、速やかに所轄の家畜保健衛生所に直ちに連絡してください！